



●【重要】駅前教室の前の駐車場でお子さんが遊ばないように、くれぐれも保護者の方が気を付けていただくようお願いいたします。

●《重要》翌月からの各種変更（休会・退会など）の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●英検受験申込は締め切りました。第2回英検は10月6日です。受験予定の方は今一度、テスト開始時間等の詳細をお確かめ下さい。第3回の英検は1月に予定しております。

●オンライン英語教材出版社のTwinkle社主催の英語スピーチコンテストが開催されます！ぜひこの機会にチャレンジしてみてください。詳細は別紙でご確認ください。

●サマースクールの写真は参加者限定ページに掲載しております

●4月～8月までの子供達のクラスの様子を報告書（evaluation）にてお伝えいたします。9月後半から10月頃に随時お渡しいたしますので、お確かめください。

●クラスのグループ写真を撮影しています。8月末まで会員限定ページに掲載しております。

【7&8月の補講日】 補講の予約をキャンセルする場合は、予約確認メールからお手続きください。

スーパーキッズ (14:45～15:15) 9月14日(土) 10月12日(土)

キッズ①&①+ (14:45～15:15) 9月21日(土) 10月19日(土)

キッズ④以上/中学生 (15:00～15:30) 9月7日(土) 10月5日(土)

ARK ACADEMY



フェイスブック インスタグラム ホームページ 補講予約ページ 公式ライン

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1
Tel /Fax : 079-563-3132

アークアカデミー英会話教室



- はじめに ■今月の誕生日
- 新着情報・お知らせ
- Summer School Report
- 中学生の英語力は「音読」で伸ばす
- 警報が発令した場合

はじめに

フランス・パリで開催されたオリンピック。この夏は、テレビにくぎ付けの方も多かったのではないのでしょうか？

オリンピックをボイコット(?)している私は、ここ数十年のアスリート達の活躍をまったく把握していませんが、SNSで流れてくるニュースで日本選出の活躍を知り感心しています。少子高齢化が加速する小国日本が、ここまで世界と対等に戦えるようになるなんて、たいしたものだと思います。日本人の勤勉さ、まじめさ、一途さ、そして経済的な豊かさが反映されているのでしょうか。スポーツや音楽、芸術の世界においても、日本は一目置かれている、そんな気がします。こんなに勤勉で一途な国民なのに、なぜ英語に関しては、下位争いから抜け出せないのかが不思議でなりません(涙)。

オリンピックで最もメダル数が多かったのは今回もアメリカだそうですが(アスリートの数が多いだけ、メダルを取る確率も多くなると思います)、その理由の一つに、アメリカ人は概してプラグマティック(実用主義的)だからではないかと思っています。感情や主観より、論理性や効率性を好むというか、科学を絶対視する、そんな傾向があるようにも思います。なので、軌道修正も早い! 語学学習法においても、効率的に習得できるよう、軌道修正をしながら常に進化しているように思います。当教室で使用している多読アプリも、使えば使うほど、考え抜かれた教材だと感心させられます。

一方、日本の英語教育に関しては未だに昭和をまっしぐら。「英語教育は変わらなければならない」と誰もが思っているのに、軌道修正ができない、そんなジレンマを感じます。根性・我慢・暗記が要求されるを外すことに全力投球といっても過言ではないような気がします。

「真面目」って素晴らしい気質だと思いますが、もっともっと肩の力を抜いて、言葉としての英語の魅力を楽しんでもらえるよう、これからも情報発信をしていきたいと思っています。



今年のサマースクールは”FUN FUN MARIO”

英語でマリオラップを練習したりゲームやクラフトと、大いに盛り上がりました。最終日はマリオカートトーナメントとアイスクリームパーティがトリを飾りました。あっという間の5日間、子供達と過ごす楽しい時間はまるで夢のようでした♥

恒例のサマースクールですが、回数を経るごとに、サマースクールも進化している気がします。アクティビティをこなす事より、子供達と楽しむ心の余裕が、私達講師の中に育ってきているのかもしれない。大切なものを優先できるようになってきた、そんな気がします。毎日が学びですね!

早速子供達から来年のサマースクールのリクエストが届いています! なんだかとても嬉しいです。

参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

中学生の英語力は「音読」で伸ばす

英語嫌いが急上昇？ 学習指導要領の改訂により、中学1年生ですでに英語に躓く中学生が増えています。

初めての期末テストの結果に、本人も親もすでに焦りを感じている、そんな声があちこちから聞こえてきます。英語は積み上げなので、最初に躓けば、その後何年も苦しい時間を過ごす事になります。次から次へと新しい文法が出てきて理解が追い付かない、単語を覚えられない、正しいスペルを書けるようにならない、どうすればいいの??と途方に暮れる気持ち、本当によく分かります。

そんな壁にぶつかっている中学生、時間があるこの夏にぜひ教科書の音読に取り組んでみて下さい。2学期初めの実力調査で、その効果がきっと可視化されると思いますよ。

なぜ音読なのか？

音読は英語学習においてとても効率のいい学習法です。英語ができる人も英語が苦手な人も音読で飛躍的英語力アップが見込めます。万人に合った英語学習法だと言えます。そもそも英語とは言語です。言語は聴いたり読んだりしてインプットし、話したり書いたりアウトプットするものです。よって、英語学習の肝は、「意味や構造を理解できる文章を、身体を通して何度もインプットとアウトプットすること」にあります。

これを一番効率よくトレーニングできるのが音読なんです。

音読では意味・構造のわかる文を読むと同時に、意味・構造のわかる文を自分の口から発することをします。この「自分の口から発する」という行為がとてつもない効果を秘めています。

でもただ音読するだけでは、思った以上の効果は上がりません、

学校のテストの点に繋がらなかったら教科書の音読。教科書は重要な文法事項、学ぶべき単語などすべて網羅されています。参考書などいろんなものに手を付けるより、教科書を徹底的に使こなす方が効率的です。

まずは教科書に書かれている本文の意味を日本語で理解します。そして、ネイティブスピーカーが話す音声をたくさん聞き、同じように発音できるように何度も何度も音読します。速度、強弱、発音、イントネーションをそっくりそのまま真似しながら音読します。ネイティブの朗読にぴったり合うまで、ひたすら練習します。自分の音読している声を録音してみるのもいいでしょう。1つの文を覚えるまで読み込んだら、次の文に移ります。

英語の文を日本語で理解する→音源をたくさん聞く→ネイティブの朗読とぴったりあうまで練習する。

このサークルを毎日少なくとも20分続けてみましょう。

音読ができるようになったら、テキストの文を書き写します。最初はお手本を見ながら書き写し、慣れてきたらネイティブの音を聞き、頭の中で音を再現しながら書き写していきます。

英語を母語とする人は、生まれたばかりで言葉の意味がわからないうちから身近な人が話す英語を聞き、その意味を文の塊で理解するようになり、それをマネして自分でも話し始めます。

しかし、日本人の多くは英語が母語ではないため、英語にふれる機会は限られています。学校の授業で聞くだけではインプットの量が十分ではないので、少しだけ聞いて、次に文字を見て、同じようにマネをして英語を再生することは難しいのです。

ですから、まずはたくさんの音をインプットすること（聞くこと）が大切です。たくさん聞くことによって、「これは完了形で、この単語は目的語として使われているな」などといちいち考えなくても、英文の意味が反射的にわかるようになります。

基本的な英文の塊が頭の中に定着すれば、それを次に別のところで聞いた時にも意味がわかります。すなわちリスニング力も上がることになります。

意味のわかる英文を自分の口で声に出して読んでいるうちに、英文の構造が身体にすんなり落ちてきます。

中学生で英語の勉強の仕方が分からない方、英語をやり直したい大人の方、教科書の音読に取り組む事をお勧めします。

警報が発令した場合

9月～10月にかけて台風が多い時期となります。

警報が発令した場合、基本的に教室は運営しておりますが、くれぐれもお子さんの安全を最優先にご判断ください。警報が理由でお休みされる場合は、振替もしくは補講をご利用ください。

ただし、状況が悪化し、外出が著しく困難になる場合は、ホームページでクラス休講をお知らせいたします。



おめでとうございます！

9月 & 10月のスクールカレンダー

黒で塗りつぶされた箇所は休校日です。

9月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			